

# 企業家研究フォーラム 2021年度年次大会プログラム

7月10日(土)

## オンライン会場A

(司会) 大阪経済大学 江島由裕

13:30~14:00	ベンチャー企業のIPOとM&Aに係るシステムティックレビュー	大阪市立大学(院) 森口文博
14:05~14:50	Venture capital investment and new-firm performance: Does VC investor type matter?	関西学院大学 加藤雅俊 慶應義塾大学(院) 吉田大喜
14:55~15:25	新規株式公開企業におけるストック・オプションの役割に関する実証研究	県立広島大学 高橋陽二
(司会) 武蔵大学 高橋徳行		
15:45~16:30	コロナ禍の下での飲食・娯楽業の廃業要因:消費者心理の影響	一橋大学 岡室博之 一橋大学 原 泰史 帝国データバンク・一橋大学 岩城裕之介
16:35~17:05	COVID-19の女性の企業家活動への影響	専修大学 鹿住 倫世

## オンライン会場B

(司会) 横浜国立大学 真鍋誠司

13:30~14:00	後継者なくして事業成功なし —小さな息子が事業業績に与える影響—	明治学院大学 児玉直美
14:05~14:50	創業者のアイデンティティの進化とアントレプレナーシップ	高知工科大学 石谷康人
14:55~15:40	若手伝統文化専門職のキャリア形成と企業家活動 —専門職の連携による新規企画事業—	近畿大学 西尾久美子
(司会) 日本大学 児玉公一郎		
15:45~16:15	インテリジェンスを活用した経営 —企業内研究組織の新しい役割—	㈱荏原製作所 立澤知子
16:35~17:05	共生社会実現に向けた企業の障がい者雇用への取り組み	東京ガスリビングホールディングス(株) 津賀正晶

## オンライン会場C

(司会) 大阪市立大学 山田仁一郎

13:30~14:00	この会場での報告はありません	
14:05~14:50	起業家的自己効力感の先行因子 —動物病院の獣医師の探索的研究—	東洋大学(院) 修了 高山智司 東洋大学 山本 聡
14:55~15:25	中小企業診断士によるエフェクチュエーションの導入研究	京都大学 高瀬 進 中小企業診断士 実践イノベーション研究会 上野浩二・山崎 研
(司会) 関西大学 藤岡里圭		
15:45~16:30	戦前期シアトルの日系移民社会と企業家活動:古屋政次郎の事例	東京大学(院) 出雲勇一郎
16:35~17:05	マーケティング概念不在時代の日本企業のマーケティング戦略	神戸大学(院) 杉林弘仁

## 総会会場

17:20~18:20

総 会

報告事項	①編集委員会報告 ②企画委員会報告 ③学会賞委員会報告 ④総務委員会報告 ⑤その他
協議事項	①2021年度アントレプレナーシップ・コンファレンスについて ②2021年度冬季部会大会について ③2020年度決算(案) ④役員改選 ⑤2021年度予算(案)・事業計画(案) ⑥その他

# 7月11日(日)

## オンライン会場A

(司会) 東京大学 中村尚史

9:50~10:20	渋沢栄一への社会的注目を通じて企業家研究は何を考えるべきか	文京学院大学 島田昌和
10:25~11:10	渋沢栄一の追求する公益とは何か	関西大学 木村昌人
11:15~11:45	この会場での報告はありません	

## オンライン会場B

(司会) 成城大学 平野 創

9:50~10:20	食で健康を届ける農業の高付加価値化戦略:「目利き」の役割	田辺三菱製薬㈱ 梅田幸子
10:25~11:10	カーボンニュートラル2050とエネルギー産業	国際大学 橘川武郎
11:15~11:45	この会場での報告はありません	

## オンライン会場C

(司会) 関西大学 西村成弘

9:50~10:20	立石電機の成長を支えた理念の形成過程	甲南大学(院) 須本隆雄
10:25~11:10	IEOと従業員のパフォーマンス・テレワークの観点から	東洋大学 山本 聡 福岡女学院大学 藤村まこと
11:15~11:45	経営者の認知能力に関する学際的知見:事例研究からの示唆	名古屋大学(院) 横山信吾

12:15~13:15

昼 休 み

## 共通論題会場

### 共 通 論 題

13:15~16:45 「地域創生と企業家活動」

地方の人口減少を食い止め、持続可能な地域経済を形成して活力を維持する「地方創生」は日本社会の主要な課題の1つであり、2014年に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が閣議決定されて最初の節目を迎えている。「地方創生」は単なる地域振興ではなく、自律した持続的社会的創生を目指している。そのためには、「中央」と「地方」との対比で地域を捉え、特定の施策に限定する視点よりも、地域の人々や企業家が主人公となって歴史的、社会的なコンテクストを活かし、「自律した地域を創り出す」という「地域創生」の視点が求められる。地域の特徴を活かして経済的、社会的価値を創造するには、その主な担い手の地域企業がアントレプレナーシップを発揮し、イノベーション創出の持続的な牽引力となることが求められる。

共通論題では、日本の歴史的経緯を踏まえ、創業支援、ファミリービジネス、地域プラットフォーム、クラウドファンディングの視点から、旧来の制度や仕組みを再構築する企業家活動について考える。

①問題提起	大妻女子大学	山田幸三
②報 告		
「創業支援の地域分権化とその効果」	一橋大学	岡室博之
「プラットフォーム概念と地域創生」	慶應義塾大学	飯盛義徳
「地域経営のためのソーシャルファイナンス」	神戸大学	保田隆明
「地域資源としての都市型産業集積 —大阪機械工業集積史の視点から—	立命館大学	田中幹大
③パネル討論および質疑応答		
討論者	大阪市立大学 東北大学	松永桂子 福嶋路
司会	東京大学	中村尚史